

使用手順

I 開始ボタンを押しますと (1 給水)のランプが点灯し、給水を開始します。

基本的な操作としてはこれだけで自動的に約100分で設定した温度のお茶が出来上がります。

作業工程として(ランプが点灯し現在の工程をお知らせいたします。)

- 1 給水…設定量の水が入ります。
- 2 加熱…加熱を始めます。
- 3 煮出…煮出を開始します。(茶葉カゴが降りて、煮出時間で設定した時間加熱します)
- 4 冷却…冷却を開始します。
- 5 終了…メロディーが流れ作業が終了したことをお知らせます。

操作部分詳細



- ①自動開始スイッチ…給茶作業開始ボタン。
- ②スキップスイッチ…工程中に押されますと次工程へ進めます。
- ③アップスイッチ…各設定温度を1°C・各設定値を1 上げます。
- ④ダウンスイッチ…各設定温度を1°C・各設定値を1 下げます。
- ⑤煮出時間スイッチ…煮出時間(茶葉カゴが降りてから加熱する時間)を設定します。
(待機時に2.5秒長押しした後、△▽スイッチで煮出時間を変更できます。)
(出荷時は70分設定)
- ⑥煮出温度設定スイッチ…お茶の煮出を開始する(カゴが降りる)温度を設定します。
(待機時に2.5秒長押しした後、△▽スイッチで煮出温度を変更できます。)
(出荷時は40°C設定)
- ⑦冷却温度スイッチ…出来上がりのお茶の温度を設定します。
(待機時に2.5秒長押しした後、△▽スイッチで冷却温度を変更できます。)
※冷却温度は常温以下に設定しても冷却温度に達しません。
(出荷時は40°C設定)

使用についての注意点



●注意点として

- ・②スキップボタンにて次の工程に移ることが出来ますが、作業終了時はランプが必ず5.終了まで行き、茶葉カゴが上がってきて、終了のメロディーが鳴るのを確認してください。
- ・⑤煮出時間、⑥煮出温度、⑦冷却温度を変更する際ボタン2.5秒長押しで設定モードに切り替わりますので速やかに設定を変更してください。
(一定時間操作を行わないと待機画面に戻ります。)
- ・待機画面時にアップダウンキーを押すと加熱温度の設定画面になります。
出荷時110℃にて設定してありますのでこの数値は変更しないで下さい。
- ・茶葉カゴを外しての運転はしないでください。
(茶葉カゴ巻き取りワイヤー故障の原因となります。)
- ・茶葉カゴを無理に引っ張ったりしないでください
(茶葉カゴ巻き取りワイヤー故障の原因となります。)

給茶機操作説明

●使用の前に・・・

- ① 本体の蛇口・排水レバーが閉まっていることを確認してください。
- ② 給水の蛇口が開いていることを確認してください。
- ③ 沸かしたいお茶の量を水量切替スイッチで決定してください。
- ④ 茶葉投入カゴに茶葉を入れてください。

●ウィークリータイマーを使用する場合

●タイマー設定方法

(タイマー右の出力スイッチがAUTOになっていることを確認し、
本体電源をONにしてください)

- ① 本体左のモードスイッチをPROGにする。

時間設定ボタン

曜日設定スイッチ

- ② 画面にON表示が出ていることを確認し
開始時刻を入力してください。

(お茶の出来上がり予定2時間前の時刻をセットしてください)
H(時)M(分)を合せ、最後にSETボタンを押してください

- ③ 画面にOFF表示が出ていることを確認し、
開始時刻の1分後の時刻を入力して最後に
SETボタンを押して、モードスイッチをAUTO
にして下さい。

- ④ 曜日選択スイッチでお使いの曜日だけ、ON
の方向にスイッチを入れてください。

モードスイッチ

出力スイッチ

後は設定した時間に自動的に作業を開始します。

ウィークリータイマーを使用の際は電源を切らないでください。

使用上の注意

茶葉投入・清掃時以外は
開けないでください。
異物混入の恐れがあります。

電気制御部分には
水をかけないでください。
動作不良・漏電する
恐れがあります。

加熱中は蛇口部分が
熱くなっております
素手で触らないように
してください。
火傷の恐れがあります。

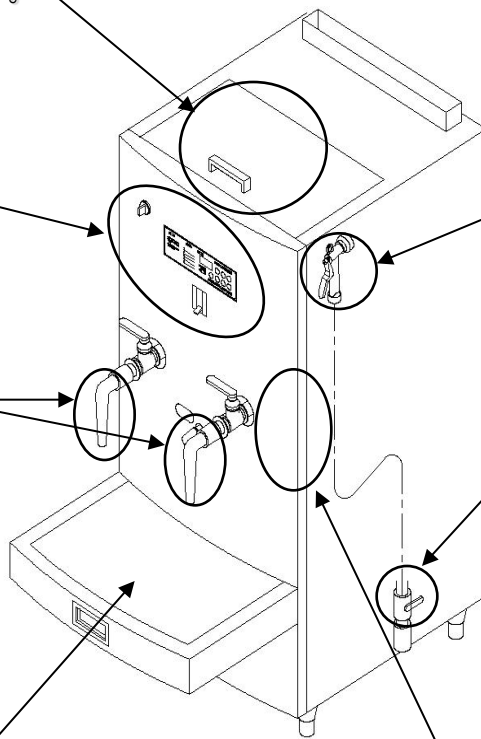
洗浄ホースは無理に引っ張ったり
巻きつけたりしないでください。
破損の恐れがあります。

使用时以外はコックを
閉めておいてください。

架台の出し入れはやさしく行ってください。
乱暴に扱うと故障の原因となります。

サービスマン以外は前面パネルを
開けないでください。

※お茶を沸かす以外には使用しないでください。



清掃手順

- タンク内のお茶を抜いてください。
- 本体の漏電ブレーカー(電源)を切ってください。
- 上蓋を開けて、茶葉投入カゴを外してください。(フックで2箇所引っ掛けてありますこの際ワイヤーを引っ張らないように注意してください。)
- 本体右横の洗浄ノズル用コックを開いてください。
- 洗浄用スプレーガンを取り、シンク内に向けてゆっくり握ってください。
(強く握ると直射・弱く握ると噴射になります。)
※このとき前面のパネルやシンクの内部以外は絶対に水をかけないでください。
- 一度水で流していただき、中性洗剤を付けて軽くこすってからもう一度水できれいに洗剤を洗い流してください。
- 乾拭きしていただき完了です。